

# 第29期 株主通信

2024年3月期 報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)



Assuring **G**rowth and  
Success with IT.

ITで、確かな成長と成功を。



AGS株式会社

証券コード：3648

## ▶▶ 社長メッセージ



代表取締役社長 中野 真治

株主の皆様には日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

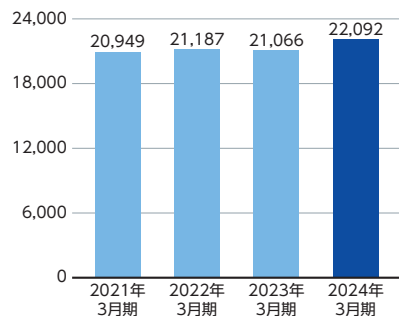
ここに、第29期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）におけるわが国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調となりました。景気の先行きについては、30年来続いてきた「コストカット型経済」から、持続的な賃上げや活発な投資がけん引する「成長型経済」への変革が期待されるものの、原材料価格の高騰や、中国経済の先行き懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、地方公共団体の基幹業務システム標

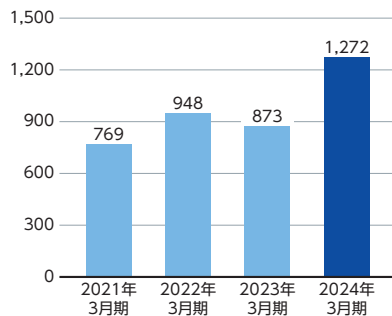
### ■ 売上高

(単位：百万円)



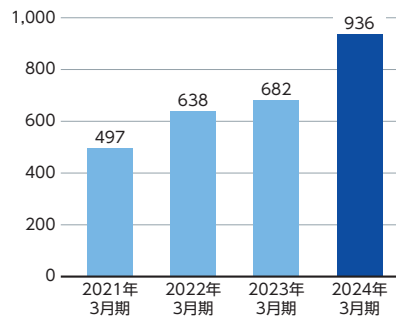
### ■ 営業利益

(単位：百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



準化推進や、老朽化が懸念される民間企業の基幹システム刷新、及び官民を問わず、生成AIの活用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の更なる加速が期待されております。また、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加し、自社の防衛策のみならず関係する外部組織も含めたセキュリティ対策の重要性が高まっており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような経営環境のもと、当社グループの経営計画の2年目となる当連結会計年度におきましては、ソフトウェア開発をはじめとする大型案件の確実な遂行、「さいたまiDC」による情報処理サービスやインフラ・セキュリティビジネスの拡大、及びSDGs推進による社会課題の解決に向けたDXソリューションの販売強化等に注力し、順調に受注を獲得してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、システム機器販売が減少したものの、他のセグメントが堅調に推移したことから、売上高は22,092百万円（前連結会計年度比4.9%増）となりました。

利益面では、売上高の増加や生産性の向上、及び前連結会計年度に発生した低採算案件の収束などにより、営業利益は1,272百万円（前連結会計年度比45.6%増）、経常利益は1,286百万円（同41.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は936百万円（同37.2%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

## 剰余金の配当(増配)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、経営基盤の強化、今後の事業の拡充、連結業績等を勘案しながら、配当性向30%を目安に、安定した利益配分を行っていくことを基本方針としております。

期末配当につきましては、2023年10月30日に通期連結業績予想の修正を踏まえ、1株当たり1円増配の6円50銭に修正いたしました。その後も業績が堅調に推移したことから、さらに1株当たり1円50銭増配し、1株当たり8円とさせていただきます。

なお、2024年3月期は、配当総額249百万円を実施

し、配当性向は26.8%となっておりますが、配当額に自己株式の取得価額（477百万円）を加えて算出する総還元性向は77.6%となっております。

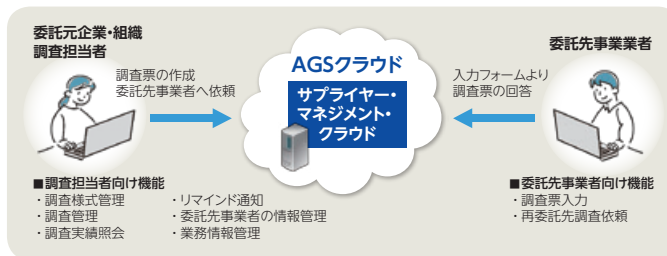
	第29期 2024年3月期	第30期 2025年3月期(予想)
第2四半期末	6.5円	8.0円
期末	8.0円	8.0円
年間	14.5円	16.0円

## セキュリティビジネスの強化・拡大

昨今、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加し、セキュリティ対策の重要性がますます高まっています。当社では、経営計画重点施策のもと、セキュリティビジネスの強化・拡大に取り組んでいます。

### 委託先事業者調査サービス「サプライヤー・マネジメント・クラウド」提供開始

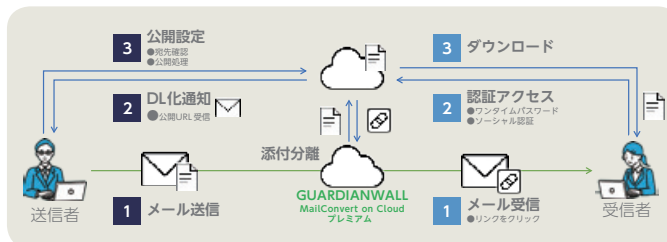
委託先事業者のセキュリティ調査やリスク管理業務を支援する「サプライヤー・マネジメント・クラウド」を、2024年4月より提供開始いたしました。業種業態問わず、幅広い分野のお客様にご利用いただける当サービスは、委託先事業者の情報をシステムで一元管理することにより、セキュリティリスクを可視化し、継続的な管理を行うことができ、これまでの煩雑な作業を削減し、調査・管理業務の効率化を図ります。



### 「GUARDIANWALL Mailセキュリティ・クラウドサービス」提供開始

Microsoft365及びGoogle Workspaceにおけるクラウド型メールの情報漏えいを防止する「GUARDIANWALL（ガーディアンウォール）Mailセキュリティ・クラウドサービス」を、2024年2月より提供開始いたしました。

クラウドメールの標準機能だけでは対応できないPPAP（メールで添付ファイルを送信する際にパスワード付きZipファイルで送付する方法）対策や個人情報検知等の機能を有しており、セキュリティを強化いたします。



### AGSのSaaS型WebARGUSにALSOKの運用支援を追加したホームページ改ざん検知・復旧サービスの提供開始

当社、総合警備保障株式会社（ALSOK）、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社の3社が協業し、ホームページ改ざん検知・復旧サービスを、2023年10月より提供開始いたしました。

昨今、サイバー攻撃の高度化とともに、企業のホームページを狙った攻撃も巧妙化しており、改ざん被害を受けると、原因を究明し、対応するまでホームページを停止する必要があることから、訪問者や顧客の信頼を失う可能性があります。お客様のホームページを24時間365日監視し、改ざんが発生しても瞬時に検知し、自動復旧させることでお客様の被害を最小限にするサービスです。

# サステナビリティ

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 総務省「テレワークトップランナー2023」選出

2023年10月、テレワークの活用による経営効果の発揮、コミュニケーション面の課題解決、地域産業の活性化や地域情報化の推進などの地域課題解決への寄与につながる取り組みを実施し、その内容が優れている企業として、総務省主催の「テレワークトップランナー2023」に選定されました。



## AGSグループ森林づくり活動

2023年10月28日、埼玉県秩父市定峰峠にて「AGSグループ森林づくり活動」を実施しました。社員やその家族など約150名が参加し、約450本の苗木の植樹を行いました。

当社は、埼玉県、秩父郡東秩父村及び秩父市と「埼玉県森林づくり協定」を締結し、森林整備活動を実施しております。

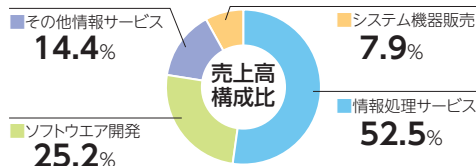
## さいたま市との共催イベント「秋の自然観察・環境学習会」を実施

2023年11月26日、さいたま市環境局所管の環境学習施設「みぬま見聞館」にて、「秋の自然観察・環境学習会」を実施し、当社社員が講師となり、再生可能エネルギーに関する講義やソーラーミニカーを使用した実験を行いました。今回は、さいたま市内の小中学生を対象として、合計18名の方々が参加し、意欲的に取り組みました。

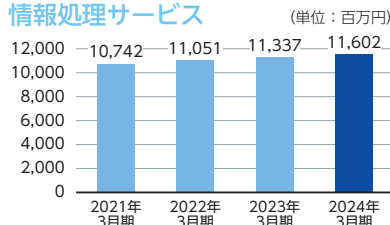


## POINT

- ソフトウェア開発においては、金融機関、及び一般法人向けの大型案件増加に伴う常駐開発規模拡大や、一般法人向けの受託ソフトウェア開発の増加などにより増収増益



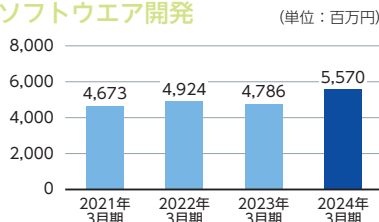
### 情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリ等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

自治体向け窓口業務やクラウドサービスの新規獲得、及び金融機関向け運用業務の受注増加などにより、売上高は11,602百万円（前連結会計年度比2.3%増）、セグメント利益は1,935百万円（同17.4%増）となりました。

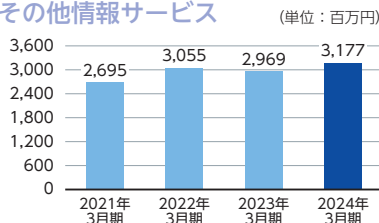
### ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

金融機関、及び一般法人向けの大型案件増加に伴う常駐開発規模拡大や、一般法人向けの受託ソフトウェア開発の増加などにより、売上高は5,570百万円（前連結会計年度比16.4%増）、セグメント利益は、前連結会計年度に発生した低採算案件の収束や、各案件の利益率確保などにより778百万円（同85.6%増）となりました。

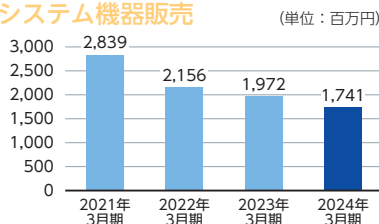
### その他情報サービス



その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

自治体向けネットワーク環境構築案件や、法人向けパッケージソフト販売の受注などにより、売上高は3,177百万円（前連結会計年度比7.0%増）、セグメント利益は534百万円（同19.6%増）となりました。

### システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

金融機関向け機器販売が増加したものの、一般法人、及び公共団体向け機器販売の減少などにより、売上高は1,741百万円（前連結会計年度比11.7%減）、セグメント利益は19百万円（同42.7%減）となりました。

## ■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	10,442	11,218
固定資産	9,681	9,602
有形固定資産	5,755	5,349
無形固定資産	1,359	1,517
投資その他の資産	2,566	2,735
<b>1 資産合計</b>	<b>20,123</b>	<b>20,820</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	4,517	4,912
固定負債	2,165	2,055
<b>2 負債合計</b>	<b>6,683</b>	<b>6,968</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	12,674	12,929
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	10,872	11,413
自己株式	△135	△421
その他の包括利益累計額	766	923
<b>3 純資産合計</b>	<b>13,440</b>	<b>13,852</b>
負債純資産合計	20,123	20,820

### 1 資産合計

現金及び預金が705百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比696百万円増加して20,820百万円となりました。

### 2 負債合計

未払法人税等が296百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比284百万円増加して6,968百万円となりました。

## ■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

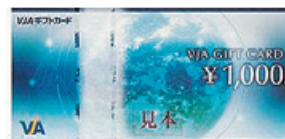
科目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	21,066	22,092
売上原価	16,600	16,739
売上総利益	4,466	5,352
販売費及び一般管理費	3,592	4,080
営業利益	873	1,272
営業外収益	69	68
営業外費用	32	54
経常利益	910	1,286
特別利益	129	145
特別損失	4	15
税金等調整前当期純利益	1,036	1,415
法人税、住民税及び事業税	328	578
法人税等調整額	25	△99
当期純利益	682	936
親会社株主に帰属する当期純利益	682	936

### 3 純資産合計

自己株式の取得477百万円、剰余金の配当210百万円による減少の一方、親会社株主に帰属する当期純利益936百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比411百万円増加して13,852百万円となりました。

# ▶▶ 株主優待制度

保有株式数	継続保有期間	優待内容
2単元株(200株)未満	—	対象外
2単元株(200株)以上	1年以上	VJAギフトカード 1,000円分
		QUOカード 1,000円分
5単元株(500株)以上	1年以上	VJAギフトカード 2,000円分
		QUOカード 2,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
10単元株(1,000株)以上	1年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 5,000円分
		QUOカード 5,000円分



優待基準日:3月末日 贈呈時期:6月頃



優待基準日:9月末日 贈呈時期:12月頃

※保有1年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載されていることといたします。  
 ※保有3年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して13回以上記載されていることといたします。

株主の皆さまの  
声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスキー入力後に表示される  
アンケートサイトにて  
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから  
カメラ機能で  
QRコードを読み取り

QRコードは、  
株式会社デジタルウェブ  
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝を進呈させて  
いただきます。

本アンケートは、  
株式会社プロネクサスの提供する  
「コエキク」サービスにより  
実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ  
「コエキク事務局」  
koekiku@pronexus.co.jp

前回のアンケートでは、多数のご回答ありがとうございました。皆様からの貴重なご意見につきましても、今後も本誌作成の改善に活用させていただき、内容の充実にも努めてまいります。

## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：3648
資本金	1,431百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 1,050名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザー株式会社

## 株主総会資料の電子提供制度

会社法改正により株主総会資料の電子提供制度が開始され、2023年3月1日以降に開催される株主総会から、株主総会資料が原則ウェブ化となりました。

2023年3月期定時株主総会の招集に際しては、電子提供制度1年目であるため、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に従来と同様の書面をお送りしましたが、制度2年目となる2024年3月期からは電子提供措置をとり、事業報告の一部のみをお送りいたします。その他につきましては当社ホームページ及び東京証券取引所ウェブサイトへ掲載しておりますので、書面での送付は廃止いたしました。

なお、引き続き株主総会資料について書面による送付を希望する株主様は、書面交付請求のお手続きをお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行株式会社サイト  
「電子提供制度について」

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先 及び 電話照会先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ ( <a href="https://www.ags.co.jp/">https://www.ags.co.jp/</a> ) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お取扱窓口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

## AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25  
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337  
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。